

第27回獣医学特別セミナー

ヒト臨床における 酸化・炎症とリポ蛋白

2016年 2月22日 (月)

17:00-18:30

iCOVER 1階101 (形態構造学実習室)

講師：小谷 和彦 博士
(自治医科大学 地域医療学 (兼)
医学部臨床検査医学 教授)

昨今、心血管病やがんのようなヒト生活習慣病は、酸化ストレスや慢性炎症を基盤とすることが確立されてきている。酸化や炎症による分子の修飾に関する基礎研究も、臨床と結びついて所見が蓄積されるようになった。今回は、酸化や炎症によるリポ蛋白の変性とこれに関する臨床的所見について提示したい。

一つの例であるが、血清アミロイドA (serum amyloid A : SAA) は、高比重リポ蛋白 (high-density lipoprotein : HDL) 粒子の構成蛋白であるが、炎症病態下で低比重リポ蛋白 (low-density lipoprotein : LDL) 粒子と結合する。血中 SAA-LDL複合体は、種々の臨床病態あるいは薬物治療で特異な挙動をみせる。この他にも酸化ストレスによる酸化LDLの存在とその臨床的意義も知られている。最近の話題も含めて情報提供したい。

★ 教員・学生の積極的な参加をお願いします！ ★

連絡先：木村 透 (5877)
加納 聖 (5883)
清水 隆 (5895)

共同獣医学部

